

(学校教育) 社会<地理>

教材番号	題名	時間	内容	対象	制作年備考
10435	美山町の土地のようすと のうかのしごと	12	美山町は丹波高地にあり、由良川の源流でもある。川の近くのわずかな平地に家を建て、田や畑がつくられている。米作りの他にキュウリや豆が栽培されている。	小(中)	1983
10438	伊根の土地のようすと人びとの くらし みなのようす(10分) ぎょぎょうのようす(10分) くらしのようす(10分)	30	一本の道路の両側に並ぶ家々。海に面した家々には舟屋がある。民宿もあり、八坂まつりの頃は見物客も多い。(産業領域の「伊根の土地のようすと～みなのようす」及び「伊根の土地のようすと～ぎょぎょうのようす」との合併テープ)	小(中)	1981
10448	土地によるくらしのようす —京都の町のようす—	13	海に面した伊根は平地が少ない。棚田や千枚田といわれるような土地が多い。八坂まつりの紹介。その他に生活の工夫も紹介している。	小(中)	1987
10452	びわこ疏水 (前編) 新しい京都の町づくり	15	明治になって京都の町を発展させるために疏水が作られた。今でも、京都市民の生活に重要な役割を果たしている。	小(中)	1980
10453	びわこ疏水 (後編) 町のくらしをささえる	16	難工事の末に疏水が完成し、発電・灌漑・上水道などに水が利用されて産業や交通の発展に大きく寄与してきた。	小(中)	1980
10460	おぐら池の干拓	15	昔のおぐら池と人々の暮らしや洪水を防ぐための努力、干拓計画と工事の様子、現在のおぐら池の様子など貴重な資料をもとに描いている。	小(中)	1990
10475	大きく変わる京都府南部 —関西文化学術研究都市—	8	京滋バイパス、京奈和自動車道など道路網の整備とともに、京都南部は今、学術研究都市計画が進められ、大きく変わりつつある。道路網と学研都市の開発の現状を探る作品。	小(中)	1994
10476	わたしの町たんけん 伏見人形とお稲荷さん	15	多くの人々に信仰され一年中賑わいをみせる伏見稲荷大社。門前町として栄えてきた周辺の店などの様子や地場産業の伏見人形の製造に携わる人々の生活を描く。	小(高)	1994
10478	京都の町の様子	8	京都市内には、会社や商店の多い所、工場の多い所、住宅の多い所、田や畑の多い所、観光客が多く集まる所など様々な特色の地域があることを紹介する。(四条通、久世工業団地、上京区、中京区、桂坂・洛西ニュータウン、西賀茂、清水寺等)	小(中)	1994
10480	鴨川の源流を訪ねて	16	加茂川流域(出町柳の合流点から鴨川の源流)の自然の様子や人々の生活との関わりや歴史を探ることにより、川と文化とのつながりを考える。	小(高)	1994
10489	木野のかわけづくり	11	昔、かわわけづくりが盛んであった岩倉の木野町を訪ね、今なお、伝統を受け継いでいる人に当時のかわわけづくりを再現してもらい、人々の苦労や工夫を考えさせる。	小 (中高)	1997
10490	これからの京都市 (改訂版)	10	市内小3生の社会科授業で「こんな町に住みたい」を話し合う。この願いをかなえるため京都市では、交通問題解消のため、平成10年9月、安全・快適・優しさを実現した地下鉄東西線開通。JR京都線など。これからは古いものと新しいものとの調和が大切であることを描く。	小 (中高)	1998
10497	わたしたちの鴨川	7	鴨川の水源地の1つ雲ヶ畑から流れに沿って見て行くと、下流になると上流のゴミが集積し、量も増える。又、水の汚れも見られる。いつまでも美しい鴨川にするために、私たちは、何をすれば良いかを考えさせる。	小 (中高)	1998
10498	わたしのまちたんけん 三栖の炬火祭	15	約1300年前に戦で天皇が三栖の地を通られたのを人々が火をともして歓迎したと言う伝説に基づき、古くからまつりとして行われていた。その後途絶えていたのを三栖の若者たちにより、10年ぶりに復活。その準備の様子や何故松明でなく炬火なのか等、まつりにかける三栖の人々の様子を描く。	小 (中高)	1999
10499	有栖川周辺を歩く	6	有栖川周辺を歩き、地域の歴史や現在の人々の暮らしの様子や願いについて考える。	小(高) 中	1999
10505	空から見た京都市 (改訂版)	10	三方を山に囲まれた京都市を、伏見区横大路のヘリポートから飛び立って空から眺め、地形の特徴や場所によっての土地利用の違いなどを考えていく。	小	2000
10113	三栖炬火祭 復興から20年	16	壬申の乱のとき、大海人皇子の歓迎故事に習って始まったとされる、伏見の三栖神社「炬火祭(たいまつまつり)」。炬火を作るためのヨシの刈り取りやたいまつ芯づくり、化粧ヨシづくりや穂ヨシ作りなど、1年がかりで準備する様子や、祭りにかける三栖の人々の様子を描く。	小	2009
10486	わたしの町たんけん しめ縄の里 —岩倉—	15	岩倉の農家は、伝統や技術を守りながら、米作やしめ縄づくりを続けている。岩倉地区でのしめ縄づくりの様子を紹介しながら、人々の願いや苦労などを描いて、地域の特色を描く。	小 (中高)	1996
10506	わたしの町たんけん 鞍馬の火祭	18	京都の三大奇祭の一つ、鞍馬の火祭が、世話役といわれる地域の人々や多くの若者によってその伝統が受け継がれている姿を紹介している。○松明の材料となる芝の運び出し ○松明作り ○寄り合いでの話し合い ○祭り前日の準備 ○当日朝の神輿づくり ○松明行列	小 中 一般	2001
10507	京の橋	15	京都にある多くの橋にはそれぞれ歴史や物語、目的がある。その一部を紹介する。○鶺鴒橋 ○船橋 ○行者橋 ○鴨川橋梁 ○九条跨線 ○伝説の橋 一条戻橋 ○景観としての橋 渡月橋 ○産業の橋 久世橋・新久世橋 ○未来の橋 市民フォーラム 『明日の鴨川の橋を考える』	小 中 一般	2001